

シリーズ
仏教語豆辞典
第9回

和顔愛語 (わけんあいご)



日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。



仏頂面はいけませんよ。

和顔愛語は、「和顔」はやわらかな顔、「愛語」はやさしい言葉。つまり、文字通り、笑顔で愛情のこもった言葉で話すことです。この言葉は、学校での教訓になったり、額や書幅にも書かれたりして、おなじみになりました。

この言葉は『無量寿経』に出てくる言葉です。

法蔵菩薩が阿弥陀仏になるために修行に励んでいるところで、「和顔愛語にして、意を先にして承問す」とあります。現代語版では「表情はやわらかく、言葉はやさしく、相手のこころを汲み取ってよく受け入れ」と訳されています。

親鸞聖人はこの経文を、『教行信証』にも『浄土文類聚鈔』にも引用しておられます。

お金や物がなくても誰にでもできるほどこしである「無財の七施」には、「やさしい言葉で相手に接するほどこし」や、「善意に満ちた和やかな顔と明るい姿で相手に接するほどこし」があります。

人間関係にはたいへん大切な態度ですが、心に余裕がなければなかなかできるものではありません。現代のような殺伐とした世の中では、なおさらですね。しかし、そんな世の中だからこそ、教えにあるように、相手のこころを汲み取ってよく受け入れ、「和顔愛語」を忘れないようにしたいものですね。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



今月の予定

2024年 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1 2	2 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
3 7:00日曜礼拝 ●	4	5	6	7	8	9
10 7:00日曜礼拝 ●	11	12	13	14	15	16 13:30グランドゴルフ
17 7:00日曜礼拝 ● ☆彼岸入り	18	19	20 春分の日 10:30やすらぎ堂春法要 13:30天真寺春彼岸法要[講師]中村啓誠師(広島)	21	22	23 ☆彼岸明け
24 7:00日曜礼拝 ●	25	26	27	28	29	30
31 7:00日曜礼拝 ●						[4月の予定] 20日(日)法話会

●印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから→<http://www.koumyou.net/tenshin>

天ちゃんの一言



● 親鸞聖人慶讃法要記念「花こぶし～親鸞聖人と恵信尼さま」観劇会

1/31(水)門信徒会の熊谷会長、小林さん、西山さん、柴田さん、坊守の5名が浅草公会堂までお出かけくださいました。劇団前進座の公演で、照明を使った語りがメインのお芝居だったそうです。ご参加いただきありがとうございました。

● お寺の掲示板大賞2023「言葉だけ立派な者は敵である 釈尊」(東京都・妙円寺さま)

昨年の大賞作で、『シンガーラ経』という経典の言葉だそうです。仏教には「不妄語」「不綺語」「不悪口」「不両舌」と言葉に関する戒めが多いです。それだけ過ちが多いということですね。思い当たります…。「和顔愛語」を心がけ少しでもお互い穏やかな気持ちで過ごしたいものです。

● 「天真寺門信徒会」 入会して一緒に仏法を聞きませんか

毎月寺報と仏教冊子を送付しています。法話会やお盆・お彼岸など法要に自由にご参加いただけます。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186

● 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/



入会随時募集
門信徒会
に入りませんか

お寺の掲示板の言葉

迷っているのは
死んだ人でなく
生きている
「私」



浄土真宗
本願寺派

天真寺

〒270-2251

千葉県松戸市金ヶ作106

TEL 047-389-0808

FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



春彼岸法要

どうぞお参りください



【日時】 3月20日(水・春分の日) 13:30

午後1時半開始 おつとめ『正信念仏偈』
ご法話(60分1席)
終了後、茶話会がありますのでどうぞご法談ください

【講師】 中村 啓誠師 (広島市光乗寺衆徒・本願寺派布教使)



【講題】 「仏さまってどんなお方？」

本山の伝道院(布教使を育てる学校)の先生です。2月の法話会に引き続きのご登壇ですお楽しみに！

★オンラインでも参加可能です

<http://www.koumyou.net/tenshin>
天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます！

オンライン参加
はこちらの
QRコードから



●やすらぎ堂春法要

日時: 3月20日(水・春分の日)
午前10時半～11時
場所: 大町やすらぎパーク内
永代合葬墓「やすらぎ堂」前
(松戸市串崎新田170-3)

●納骨堂合同参拝

日時: 3月2日(土) 午前10時～10時半
場所: 天真寺2F納骨堂

お寺のすべての法要は参加自由です。どうぞお参りください。

春彼岸を迎えます。寒さが緩み日に日に暖かくなってくるこの季節の到来は、四季の移り変わりの中でも特にうれしいものです。今年は能登半島地震で被災された方々が、雪の中で避難生活や復興活動をされる姿に、格別にこの季節が待ち遠しく感じました。少しでも体が楽になって過ごせることを心から願っています。

お彼岸は日本独自の仏教行事で、夕日が沈む西方に仏さまの浄土を思い、先立って往かれた方々を偲んできました。お別れした身近な方々がいる世界に、私もいのち終わって還っていくのです。



ところで、日本では7色とされる虹色ですが、アメリカやイギリスでは6色、ドイツやフランスでは5色とされ国によって数が違うそうです。その理由は、虹色はグラデーションなので、何色が見えるかよりも、何色と見るかによるといいます。

夕日が沈む西方に、何が見えるか。そこにあたたかな浄土が思い浮かぶなら、それは仏さまや亡き方々によるお育てがあったおかげです。仏さまのお話を聞くと、目に見えなくても、心に見える世界があることが知らされます。此岸から彼岸へ思いをはせ、今生かされていることに感謝のお念仏を申し過ごす豊かな時間がお彼岸です。 合掌

お誘い

しんらんしょうにん ご たんじょう 親鸞聖人御誕生850年
りっきょうかいしゅう 立教開宗800年
きょうさんほうよう 慶讃法要

国の重要文化財 築地本願寺

法要にお参り＆お齋をいただく 一日参拝のお誘い

しんらんしょうにん ご たんじょう 親鸞聖人御誕生850年
りっきょうかいしゅう 立教開宗800年
きょうさんほうよう 慶讃法要



2023(令和5)年、親鸞聖人のご誕生850年、浄土真宗が開かれて800年の記念の年を迎えました。そこで、今春築地本願寺で慶讃法要がつとまります。「親鸞聖人の説き示して下さった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかったという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。ぜひ皆さま、お誘いあわせのうえ、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

しんらんしょうにん 親鸞聖人について

親鸞聖人は1173(承安3)年に京都日野の里でお生まれになり、9歳で出家得度されました。その後、比叡山で学問修行に励まれましたが、29歳の時、師である源空(法然)聖人のお導きによって阿弥陀如来の本願を信じ「南無阿弥陀仏(なまあみだぶつ)」という念仏の教えに帰依する身とされました。35歳の時、念仏弾圧により越後に流罪となった後、関東に移って念仏の教えを弘められ、晩年は『教行信証(きょうぎょうしんしょう)』等多くの著述に力を注がれ、90歳で京都にて往生されました。



●親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要 天真寺団体参拝のご案内●

〈日時〉 4月26日(金) 12:00 築地本願寺現地集合

〈持物〉 お念珠、式章(お持ちの方)

〈参加費〉 1人 1,500円(お齋弁当代含) ※3,000円のところ半額は門信徒会の補助が出ます

〈次第〉 12:20お齋弁当→13:20布教→14:00法要「御本典作法」(前門さま御出座)→帰敬式

〈申込〉 参加費を添え、3/20春彼岸法要までにお申込みください。
お寺に申込書があります。

この法要をご縁に、仏弟子として法名をいただく「帰敬式(きぎょうしき)」が受式いただけます。ご希望の方は、お寺までご相談ください。なお、別途冥加金が必要となります。ご不明なことがございましたら、お気軽にお尋ねくださいませ。

